

小中連携道徳通信5号

発行者：江田島中学校区 道徳教育推進リーダー 川中 健太

◎多様で効果的な道徳の指導方法（その2）



学習活動の工夫

道徳的価値を追求するためには、中心場面での多様な考えを引き出し、交流することが大切です。そのために、次のような工夫を取り入れてみましょう。

- 表現活動の工夫（役割演技、ネームプレート、書く活動、ペアや班での話し合い）

◆江田島中学校3年生での実践の紹介

10月26日、江田島中学校3年1組で「町内会デビュー」（内容項目：A-1 自主、自律、自由と責任）という教材で授業を行いました。

【資料のあらすじ】

主人公・明は、町内会の草刈り作業に家庭の代表として参加してほしいと母親から頼まれ、仕方なく参加する。しかし、町内会の人に教えられながら草刈り作業をしていくうちに、お年寄りにはできない仕事があることに気づき、自ら進んで作業をするようになり、町内会の人に積極的に関わろうとするようになる。

【教材分析】

本教材の道徳的論点は、他律の状態から、自主的に判断し自律的に行動しようと変化したところにある。はじめ母に言われていやいや町内会の作業に参加した明が、作業中でお年寄りにはきつい作業を、自ら進んでしようとする（「よし。」と自分から草や枝を集め始めた）ところを中心場面とした。

【ねらい】

明の気持ちに変化した理由について考えることを通して、自主的に考え、自らを律し、自分の決めたことを実行していこうとする道徳的判断力を育てる。

【指導上の留意点および工夫】

- ・導入で、明と同じ場面設定で意思表示をさせておく（ネームプレート）ことで、教材への自我関与を図った。
- ・明の気持ちが「他律」から「自律」へと変化した場面を取り上げ、中心発問以降で、自律と他律の違いや、自分の意志で行動することの良さについて考えさせた。



【学習指導過程】

<導入>

- 「自立」と「自律」の意味を知っていますか。
- 親に、町内会の清掃活動に参加してくださいと言われてたら、参加しますか、しませんか。
 - ・参加する。→協力することは大事だと思うから。
 - ・参加しない。→めんどくさいから。行きたくないから。

◆教材への自我関与を図る（ネームプレートの活用）

<展開>

- 範読を行う。
 - 明の清掃に対する気持ちは、最初どんな気持ちだったろう。
 - ・めんどくさい。だるい。
 - 明の清掃に対する気持ちは、最後どんな気持ちだったろう。
 - ・やる気になっていた。
 - 明の気持ちが変わった明の発言はどこだろう。
 - ・「よし。」の部分。
- ◎明の気持ちがそのように変化したのは、どうしてだろう。（ワークシート）
- 記述させた後、班で交流を行う。

◆多様な考えを引き出す中心発問

◆班での意見交流

補人に言われて、いやいややることを「他律」と言うんだけど、明は最初「他律」だったよね。じゃあ、この時は、いやいややっていたのかな？

・いやいやではない。

補いやいやではないってことは、自分の意志が入っているってことですか？

・少しは入っている。

補じゃあ、「自律」か「他律」かと言うと、どちらかと言えば「自律」寄りなんだね。自分の意志で考えて行動することを「自律」と言うんだけど、「自律」と「他律」で何がどう違うのかな？「自律」だと何か良いことがあるのかな？

◆道徳的価値を追求していく発問

<終末>

- 自ら考え、行動することについて考えてみよう。（ワークシート）

【生徒の感想より】

- ・自ら考え行動することで自分の考えを持つことができ、集団の中でリーダー性を発揮することができると思った。（藤井くん）
- ・自律することで、これから自立でき、大人になれると思う。そして、それは人生が楽しくなることにつながると考えました。（古本さん）
- ・自律だと、しんどいこともあるけど、やる気や達成感は大きくなると思う。（沖くん）
- ・人に指示されると、考えず、楽にできるということもあるかもしれないけど、その分、自分がやりたいと思ったことじゃないから、やる気はあまりおこらないと思った。自分でやりたいと思ったことを行動にするのは、場合によっては難しいかもしれないけど、やる気がおこるし、満足するし、なにより達成感が得られると思った。（宮下さん）